

超早場米 コシヒカリ産地の種子島で14日、収穫が始まった。コメの供給不足による価格高騰が続く中、農家は丹精込めて育てた黄金色の稲穂をコンバインで刈り取り、「おいしい新米を味わって」と願った。

南種子町荳永の石堂裕司さん(50)は雨が上がった同14日午後、3月下旬に田植えした約30㍏で収穫を開始。4月下旬～5月に冷たい風が吹いた影響で1週間程度ずれ込んだが、例年以上の実り具合という。

コメの供給不足は続き、集荷時にJAが農家へ代金を仮払する「概算金」は、県内2025年産早期米でも高い水準となっている。一方で、肥料や燃料などの値上がりによる生産コストの増大も価格高騰の背景にある。

石堂さんは価格転嫁に一定の理解を求めつつ「生産者としては、おいしいコメを消費者に届けたいという思いに尽きる。新米を一粒一粒味わってもらえれば」と話した。

超早場米 食卓へ

種子島で収穫始まる



超早場米のコシヒカリを収穫する農家＝14日午後、南種子町荳永

【問1】 超早場米コシヒカリの産地である場所はどこでしょう。

種子島

【問2】 超早場米の収穫が始まったのは、何月何日でしょう。

7月14日

【問3】 石堂さんは、いつごろ田植えをしたのでしょうか。

3月下旬

【問4】 石堂さんの田んぼの収穫が1週間程度ずれ込んだ理由は何でしょう

4月下旬～5月に冷たい風が吹いた影響

【調べてみよう】

超早場米について調べてみよう

むずかしい漢字とことば

超(ちょう) 収穫(しゅう・かく) 供給(きょう・きゅう) = 求められた物を与えること。商品を市場に出すこと 価格(か・かく) 高騰(こう・とう) = 物の値段が急に上がること 下旬(げ・じゅん) = 月の21日から終わりまで 収穫(しゅう・かく) 吹(ふ)く 影響(えい・きょう) 程度(てい・ど) ずれ込(こ)む 仮払(かり・ばら)い 概算(がい・さん) = だいたいの計算や見積もり 肥料(ひ・りょう) 燃料(ねん・りょう) 値(ね)上がり 増大(ぞう・だい) 理解(り・かい) 転嫁(てん・か) = 人におしつけること 背景(はい・けい) 消費(しょう・ひ) 届(とど)ける 尽(つ)きる 粒(つぶ)

